

今年度も野沢温泉学園の子どもたちの活動に、様々なご支援・ご協力をいただきありがとうございました。その中で、子どもたちが心ゆくまで活動したり、課題に粘り強く取り組んだり、学びを深めたりすることができました。皆様の一年間のご支援に心より感謝申し上げます。

「じぶんラボ安全見守りボランティア」(小学校)

小学校で10月からスタートした週1回の「じぶんラボ」の時間。子どもたちが自分の「好き」や「やりたい」に挑戦する時間になっています。知りたいことやできるようにになりたいことに集中して取り組む子どももいれば、興味のあることを次々とやってみる子どももいます。作品の完成をめざして毎週黙々と取り組む子どももいます。そんな子どもたちのチャレンジを見守るのが、安全見守りボランティアのみなさんです。現在9名の方がご自分の都合に応じて参加しています。活動する子どもたちの近くで、一緒にワクワクしたり感心したり、時にはハラハラしたりしながら見守ります。「慣れてきて楽しみになってきました」と



おっしゃるボランティアさんもいます。活動終了後はみんなでトークタイム。これもとてもいい時間です。校長先生や教頭先生が参加して下さることもあり、「前回より準備や段取りを工夫していて驚きました」「あの場面では声をかけた方がよかったのか迷いました」などの感想や、「活動場所が混雑して危ないと思う時があるのですが」などの意見も受けとめてもらっています。安全見守りを通して、ボランティアが学校と願いを共有して子どもの活動に関わる活動になってきているように感じます。

今年度の活動は終了しますが、来年度も子どもが活動に集中できるように、見守りボランティアを元気に楽しく継続させたいと思います。



「書初めに気持ちをこめて」(小学校3~6年生)

小学校3年生から書写の授業で書初めに取り組みます。筆をもつ機会の少ない子どもたちにとって、毛筆で大きな紙に字を書くことはなかなか難しいものです。そこで小学校では、毎年冬休みの前に書家の江尻文夫さんに来ていただいて、書初めの練習をしています。今年度も江尻さんは3年生から6年生のクラスで、子どもたちひとりひとりに寄り添って教えてくださいました。気持ちをこめて力強く書かれた書初め。新しい年は、きっと良い年になることでしょう。



「『ふるさと学習』-ジビエとオリジナルTシャツ」(中学2年生)

中学2年生の総合的な学習の時間では、2グループに分かれて「ジビエ」と「オリジナルTシャツ製作」に取り組んでいます。「ジビエ」は昨年度から長谷川竜也さんを中心に、猟友会、村内の料理人のみなさんにご協力いただいて継続して取り組んでいるものです。今年は、くくり罠の設置体験、熊の解体、ジビエの調理実習と一層積極的に取り組んできました。野生動物の捕獲から命をいただくまでを経験し、ジビエの重要性と引き継いでいく必要性を実感した生徒たち。今できることとして、販売活動を計画しています。また、「オリジナルTシャツ製作」は、村の魅力を伝えるTシャツをデザインし、村内イベントなどで販売したいと生徒たちが立ち上げた活動です。岡学園の講師の指導を受け、村観光局とも協働・支援いただくなど活動の広がりが見られています。



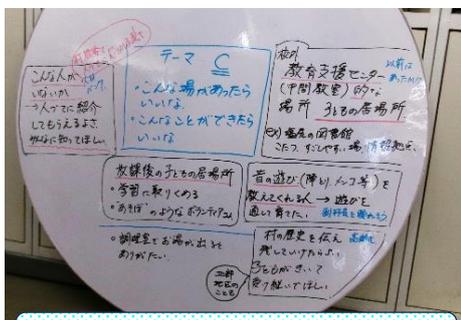
いずれの活動も費用がかかり、自分たちがいいと思ってもだめと言われることがあるかもしれません。でも、6年生の時に温泉卵をつくって販売し、灯籠を奉納した経験をもつパワフルな2年生です。自分たちと違う見方・価値観に触れて視野を拡げ、様々な立場の人の力を借りながら、協力し合い、簡単に解決しない難題も乗り越えていくことでしょう。この先がとても楽しみです。

「ボランティアのつどい」(地域支援センター)

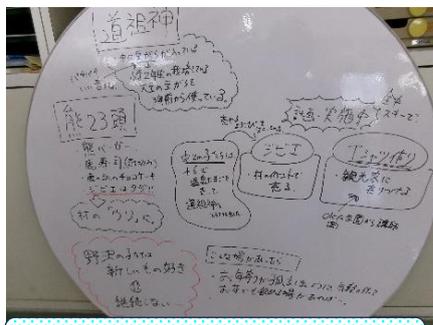
11月14日、中学校を会場に今年度の「ボランティアのつどい」を開催しました。学園運営協議会委員も多く出席いただき、参加者36名の活気のあるつどいとなりました。前半は、小学校の「じぶんラボ」の様子を共有し、後半は6グループに分かれての意見交換です。村のみなさんと学園職員が、笑ったり、大きくうなずいたりしながら、村や子ども・学園のよさや今取り組んでいること、あったらいいなあと思う場を語り合いました。



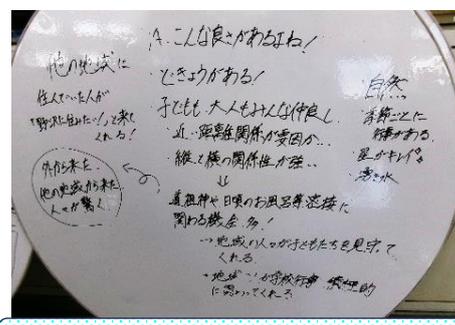
以下に3つのグループの記録を紹介します。



こんな場があったらいいな・できたらいいな



今、こんなことやってます



こんなよさがあるよね。村・村の子ども・学園

いただいたご意見には、学園のこれからの活動へのヒントがたくさん詰まっています。何より、こうやって、村のみなさんが先生たちと一緒に考えているということが、子どもたちの活動への大きなエールです。この輪がこれからもつながり続け、少しでも拡がっていくことを期待しています。(文責 藤村)

地域支援センターからお知らせ

☆支援ボランティアの希望を随時受け付けています!

連絡先: 野沢温泉学園地域支援ボランティアセンター(野沢温泉村教育委員会内)

担当: 藤村 TEL:0269-85-3115